

⑬マスコミ・出版界における差別事件

TBSテレビが二〇〇八年一〇月一四日、一九時五六分～二一時四八分に全国ネットで放送した「キミハ・ブレイク「篤姫は知っていた!? 徳川埋蔵金大発掘」」のなかで、賤称語の「穢多」という文字が何の脈絡もなく映し出される事件が起きた。広島県連から報告を受けた中央本部が、TBSに指摘したところ、番組の再現ドラマシーンの「小道具」の「綴じ本」であったことがわかり、TBSは不用意であったことを謝罪、一〇月二〇日付で社内調査の結果と再発防止に向けた取り組みを文書で中央本部に提出した。

それによると、問題の番組の主たる内容は「徳川埋蔵金」に挑戦するエンターテインメント・ドキュメンタリー。そのなかで再現ドラマ「小栗上野介が長州征伐に必要な資金を集めるため勘定奉行所でさまざまな書類を見ているシーン」で、小栗が手にした小道具の白和綴じ本の表紙に「穢多非人取締」と筆文字で書いてあるのが一三秒間、放送画面に映ったもの。その小道具の白和綴じ本は、保管倉庫からロケの現場に持ち込まれた約一六〇冊のなかの一点で、三〇年前に撮影用小道具として作られたものと推測され、それが「どんな番組（映画・舞台）に使用する目的で作成されたかは、今や知る人がなく、今回の社内調査では判明しなかった」と報告。その問題の白和綴じ本は、事実確認作業ののち、「速やかに破棄すること」にしたと報告した。また、当該シーンは、現場のあわただしい状況のなかで急きよ決めたため、ディレクターをはじめ、カメラマンらのスタッフも表紙の文字に意識が届かぬまま撮影し、放送までにプレビュー（下見）の機会があったが、当該の文字の問題には気づかなかった、このような映像を放送したことには深く反省し、今後このような問題が再発しないよう、全社的な啓発に取り組んでいく、と回答した。